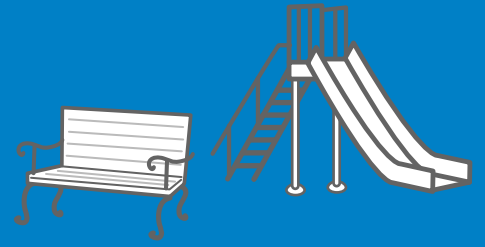


# 身近にある公園を



# 秋も冬も使いこなそう！

なぜ

秋も冬も？

気温が下がり雪が積もる秋や冬は、以前から公園の利用は少なく、また、少子化の影響で子どもの数が減少してきたことにより、公園の利用も減ってきていました。

加えて、ゲーデニングなどの普及で、自宅の花壇や菜園で使う土の需要が高まってきたほか、冬には雪たい積場の不足で、除雪に支障が生じることが心配されていました。

このような社会状況や生活様式の変化を踏まえ、南区では市民にとって身近な公園に着目し、秋には落ち葉を集め腐葉土を作る場所として、冬には雪置き場としてなど、一年を通して公園を活用する取り組みを進めています。

へえ〜公園って秋や冬も使っているんだ



いいことは

何？

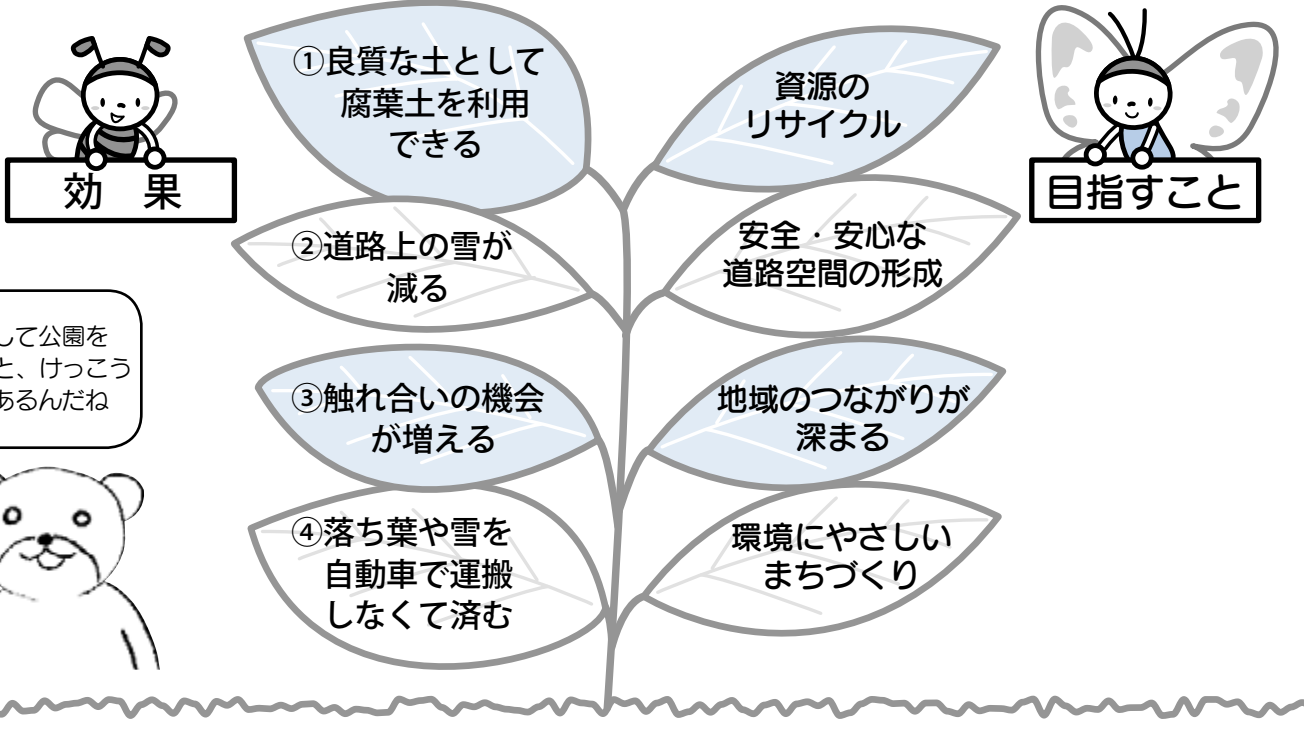
公園を活用したこれらの取り組みを行うことにより、さまざまな効果が現れ、生活が豊かで快適なものとなり、環境保全につながることを、南区は目指しています。

①従来はごみとして処分されていた落ち葉を使い、皆さんで腐葉土を作ると、良質な土として利用できるため、資源のリサイクルにつながります。

②生活に支障となる道路の雪を公園に搬入し、路上の雪が減ると、安全・安心な道路空間の形成につながります。

③このような活動を、皆さんが共同で行うと、触れ合いの機会が増え、地域のつながりがいっそう深まっていくことが期待されます。

④落ち葉や雪を自動車で運搬せずに済むため、二酸化炭素排出量が減り、環境にやさしいまちづくりを行うことができます。



一年を通して公園を活用すると、けっこういいことがあるんだね

